

国立国語研究所学術情報リポジトリ

語彙史の比較対象：

日本語・英語・フランス語・中国語

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮島, 達夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002890

(要旨)

日本語は幕末から明治にかけて、つまり19世紀後半に急激に語彙をふやし、近代化した。おなじような変化がほかの言語にもあるかどうかをしらべるのが、この研究の目的である。

調査はまだ進行中だが、英語については13・14世紀、フランス語からの独立以後フランス(ラテン)系の借用語がふえ、おおきくかわったようにみえる。フランス語では、各時期になだらかに語彙の増加があり、とくに急激な変化の時期というものはみられない。中国語では、とくに近代における資料の不足から、はっきりしたことはいえない。

(方法)

各言語の語彙調査の結果から、使用度数のたかい1000語をえらび、これらがいつから使われているかを、おおきな辞典の用例でしらべる。1000語をえらぶ台帳にしたのは、

[日本語] 国立国語研究所『現代雑誌九十種の用語用字(1)』(1962)

[英語] Henry Kučera & W. Nelson Francis: "Computational Analysis of Present-day American English" (1967) [いわゆるブラウン・コーパス]

[フランス語] Alphonse Juilland, Dorothy Brodin & Catherine Davidovitch: "Frequency Dictionary of French Words"

[中国語] 北京語言学院語言教学研究所編『現代漢語頻率詞典』(1986)

である。ただし、各言語とも、固有名詞・接辞・冠詞・前置詞などははぶいた。初出年代の決定は、つぎの辞典によった。

[日本語] 日本国語大辞典

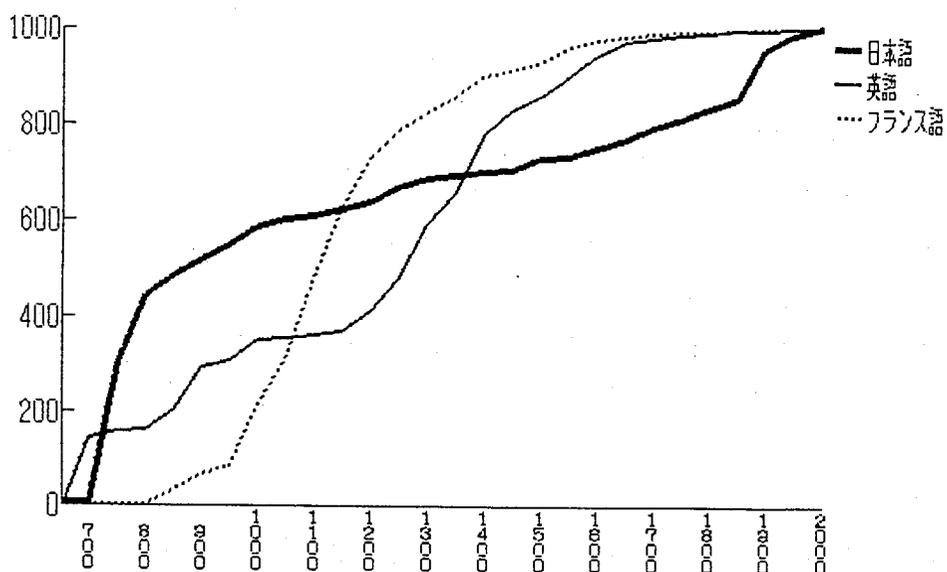
[英語] New English Dictionary (NED)

[フランス語] Grand Larousse de la Langue Française

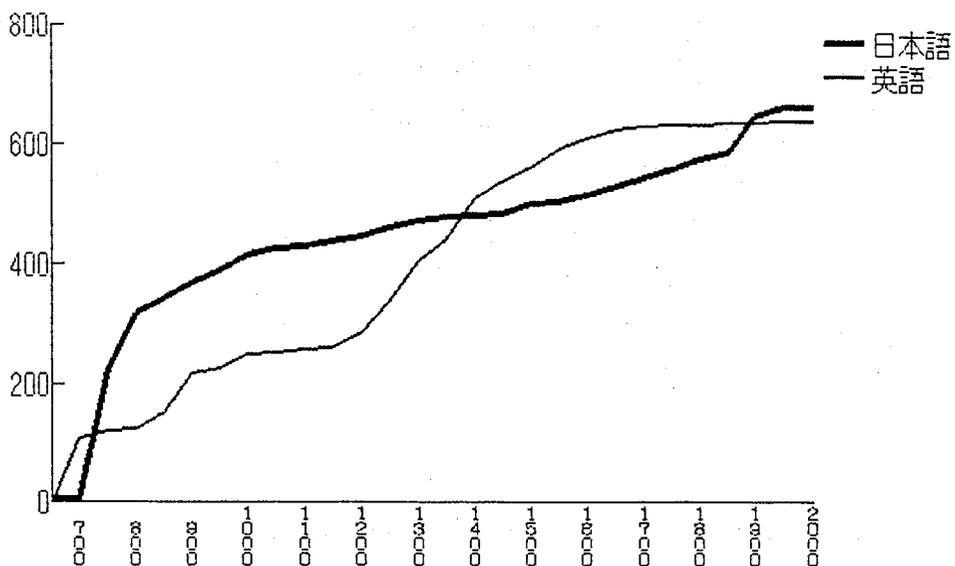
[中国語] 大漢和字典(諸橋轍次)

きょうの発表は中間報告で、数字は、まだ、かなりうごくはずである。

[図1 日本語・英語・フランス語の比較]



[図2 日本語・英語の対応語の比較]



(ふるい例)

[日本語]		[英語]	
国家	604年(憲法十七条)	town	604年
党	604年(憲法十七条)	this	670年
とき	607年(金銅薬師仏造像記)	thing	686年
実[じつ]、法、生きる、あう...		worth, church, after, all....	

日本語： 759年 万葉集 96語

英語： 700年 ベオウルフ 125語

フランス語： 1080年 ローランの歌 137語

(あたらしい例)

[日本語]		[英語]	
高校	1949年	radio	1910年
ウエスト	1954年	jazz	1917年
テレビ	1955年	soviet	1917年

「航空、参照、投資」など9語は用例なし

『日本国語大辞典』で明治以前の用例がもれている例

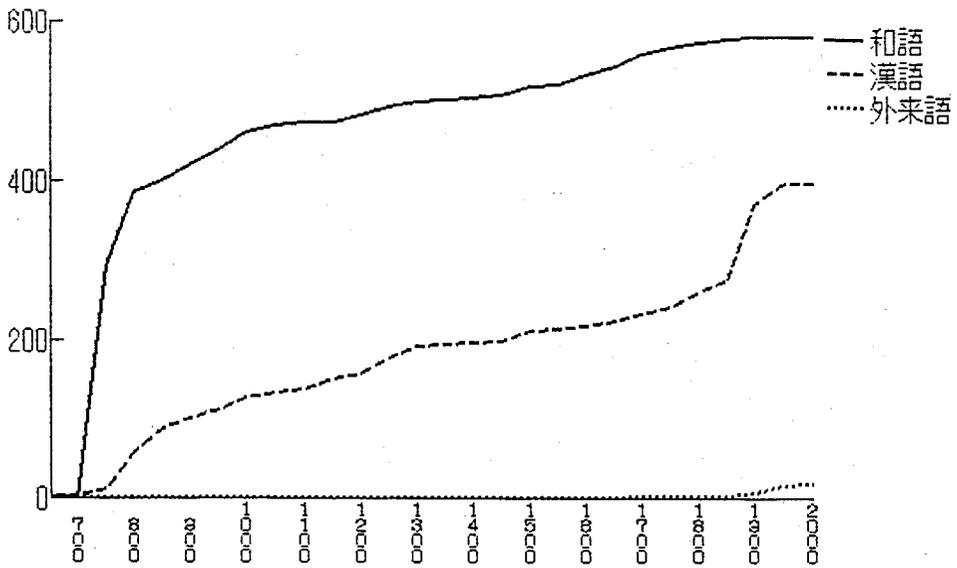
家庭 材料 事務 条件 地方 目的 予定

(吉田松陰の書簡、佐藤喜代治『国語語彙の歴史的研究』)

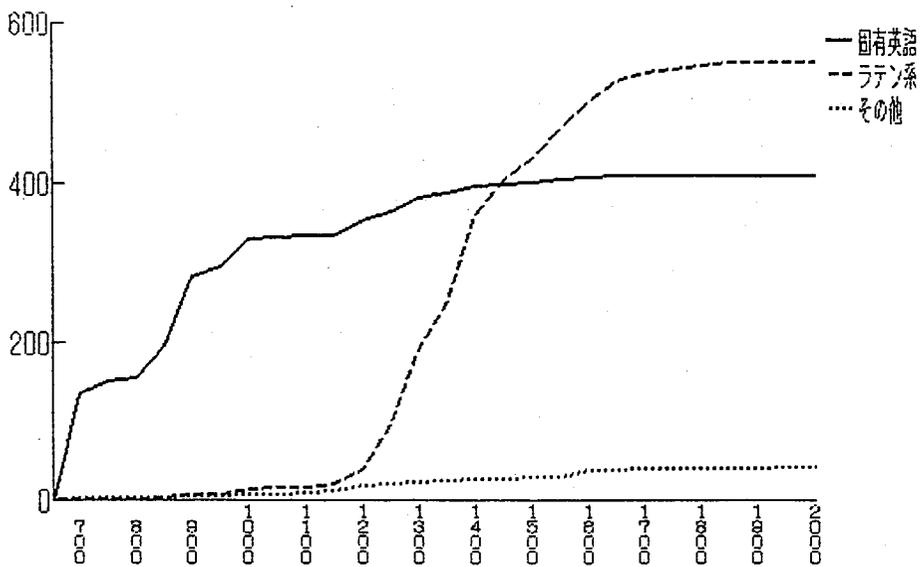
完成 原因 工場 時間 説明 必要 表面

(『海上砲術全書』、松井利彦「近代漢語の伝播の一面」)

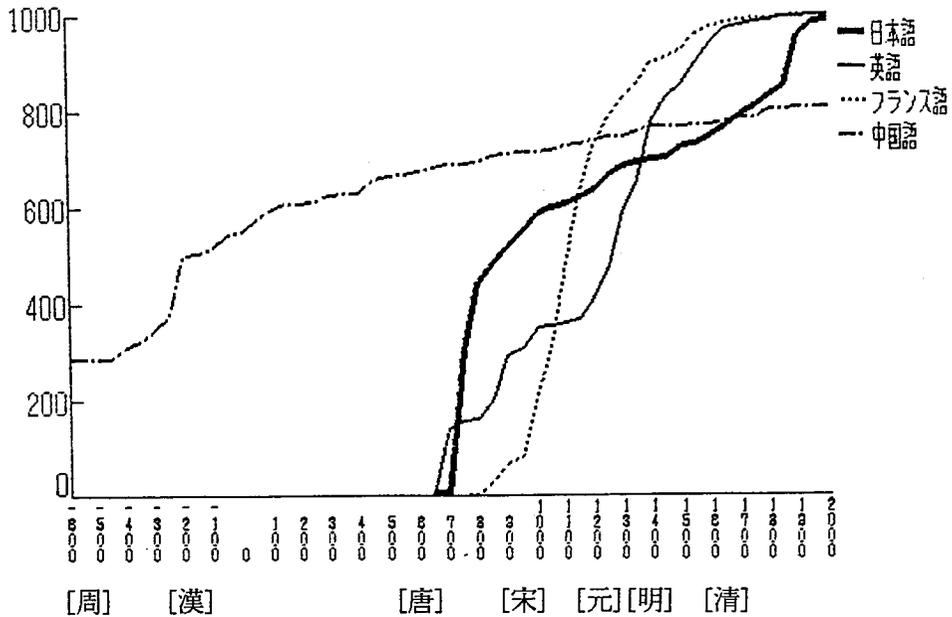
[図3 日本語の語種の変化]



[図4 英語の語種の変化]



[図5 中国語の変化]



作品の年代は、おもに『学研漢和大字典』の「中国の名著」「中国文化史年表」による

-600年	詩経	123語
	書経	70語
	易経	94語
-450年	論語	19語
-350年	左氏伝	23語
-289年	孟子	11語
-202年	礼記	58語
	周礼	33語
	儀礼	10語
-91年	史記	27語

中国語 = ラテン語 + フランス語